

# 第73回秋季善行表彰式を開催

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。



一般社団法人  
日本善行会

〒100-0006  
東京都千代田区有楽町  
2-10-1 東京交通会館内  
TEL (03) 3212-6996  
FAX (03) 3212-6998  
URL: http://www.zenkoukai.or.jp  
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行  
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を  
照らすともしび。

令和五年度秋季善行表彰式を、十一月二十五日(土)明治神宮参集殿において、多数のご来賓と本会から役員及び全国支部長の出席の下、開催した。

善行表彰式は、コロナウイルスの感染拡大のため、令和二年度以来中止が続いていたが、今年度は、春季・特別善行表彰式の再開に続き、四年ぶりの開催である。今回の表彰は、昭和二十六年に善行表彰が開始されてから、通算して七十三回目となる。

今回の「秋季善行表彰」では、三十四の個人・団体が表彰された。

表彰式は、国歌斉唱の後、相澤副会長の「開式のことば」で始まり、続いて勝野会長が式辞を述べた。

続いて、受賞者選考委員会を代表して、川口雄選考委員長が、選考経過の報告を行い、表彰授与に進んだ。

司会者が受賞者の名前を読み上げる中、各受賞者は順次ステージに上がり、勝野会長から表彰状と善行章(団体には盾)が授与され、得賞歌の流れる中、参加者の盛大な拍手で祝福された。

表彰授与に続き、前年度受賞者代表 篠原博道氏(群馬県高崎市)から受賞者へのお祝いの言葉が述べられ、知事や市長、区長等からの祝電が披露された後、受賞者を代表して、玉木孝司氏(栃木県宇都宮市)からお礼の言葉が述べられた。

その後、音楽文化協会森川正子氏による「日本善行会の歌」の紹介と歌唱指導が行われ、受賞者や同伴者も一緒に力強い歌声が会場いっぱいに響きわたった。

続いて、芸能奉仕団 小山えつこ氏によるギターと昭和の懐かしい歌の披露で、参加者一同は、しばし時を忘れて出演者の演奏を楽しみ、会場が和やかな雰囲気となった。

最後に高田副会長による「閉式のことば」があり、式は滞りなく終了した。

## 式辞

一般社団法人日本善行会  
会長 勝野 堅介



本日ここに、令和五年度秋季善行表彰式を執り行うに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、受賞されます皆様方は、それぞれの地域社会において特に顕著な善行を、長年にわたり継続され、高い評価を得られている方々でありま

す。皆様方の愛と奉仕の精神に徹したその活動に、深く敬意を表しますとともに、本日の受賞を心からお祝い申し上げます。

日本善行会は、昭和十二年に設立され、昨年、創立八十五周年を迎えました。

この善行表彰は、昭和二十六年に第一回の表彰式が開催され、以来回を重ねて本年で七十三回となります。

令和二年春から昨年秋までは、コロナ禍のため表彰式を、開催することが出来ませんでした。今年度は春季表彰式を五月に開催することが出来、本日の秋季表彰式

も従来どおり、多数の受賞者やご来賓の参加の下に開催することが出来ました。誠に喜ばしい限りでございます。

日本善行会は、第一回の善行表彰以来、国籍を問わず、社会の中の隠れた善行を見いだして、五万余の方々の顕彰して参りました。

これまでに受賞された多くの方々は、各地域で善行を重ねられ、明るく住みよい社会環境づくりに大きな力を発揮されておられます。

また、本会には、全国に七十六の支部があり、三千二百名余の会員の方々が力を合わせ、青年の非行防止や健全育成活動、社会福祉施設慰問、交通事故防止、環境美化運動、国際貢献などの善行実践活動と、善行精神の普及啓発に取り組みしております。

コロナ禍は、ようやく落ち着きを見せたものの、先の見えないロシアとウクライナの戦争に加えてイスラエルとパレスチナテロ組織との紛争も起るなど世界は大変憂慮すべき事態が続いています。

我が国もこのような国際情勢の下で、少子高齢化、物価高騰、相次ぐ自然災害や事件、事故といった様々な困難な問題を抱えています。

内外ともに厳しい状況にありますが、日本善行会の精神は、自分の立場や考えに固執せず、温かい思いやりの精神で人に接し、明るく住みよい社会を建設していくというところにあります。

善行は深い愛情と大きな勇気によって、はじめて行われるものであり、受賞されます皆様方の、他人に対する労りや、温かい思いやりに根ざした善行は、志を同じくする多くの人々にも勇気を与え、一つ一つは小さなことであっても、それが積み重ねられ継続することによって、大きな輪となって広がり、日本を、ひいては世界をも動かす、明るく住みよい社会に変わっていく大きな力になるものと確信しております。

本日受賞されます皆様方が、この受賞を契機として、今後とも、健康に留意され、その豊富な識見と尊い経験を生かし、益々活躍されますことを心よりご期待申し上げます。

終わりに、本日ご列席の皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げます。式辞といたします。